

# 事業・運営権対応型無償資金協力\*の受注について

## カンボジア王国「タクマウ上水道拡張事業」

- 北九州市が企画から深く関わってきた「タクマウ上水道拡張事業」に、(株)北九州ウォーターサービス(KWS)を含む、北九州市海外水ビジネス推進協議会(KOWBA)の会員企業(5社JV)が受注しました。
- 施設を建設する通常は無償資金協力とは異なり、浄水施設を建設後、現地カンボジアで10年間の水道事業運営を行います。
- 自治体が出資する外郭団体が、海外の水道事業に参画するのは、KWSが日本初です。
- これにより、およそ8万人のタクマウ市民の水不足を解決し、カンボジアのSDGsの目標達成に大きく寄与します。

### 1. 事業概要

- 形態： 事業・運営権対応型無償資金協力  
 発注者： プノンペン水道公社 (PPWSA)  
 契約金額： 浄水施設整備費 28.8億円  
 実施期間： 設計・建設期間 3年間  
                   運営維持管理 10年間  
 供給能力： 30,000m<sup>3</sup>/日【全量買取制】  
                   (受益人口約8万人)



### 2. KOWBA会員企業による共同企業体(5社JV)の構成

共同企業体 (JV)	担当分野
(株)クボタ建設【代表】	土木・建築工事、取水施設、ポンプ設備
(株)神鋼環境ソリューション	浄水施設、受電設備、機械設備
(株)北九州ウォーターサービス	制御・計装設備、運転指導
(株)建設技研インターナショナル	土木・構造物設計、設計図書全体取りまとめ、 報告書類作成等
(株)TECインターナショナル	

### 3. タクマウ市について

- タクマウ市は、首都プノンペン都の南側約11kmに隣接するカンダール州の州都です。この地区に、PPWSAがプノンペン都内の浄水場から給水を行ってきましたが、都内の水需要の急増により水不足が深刻化しています。

#### 4. タクマウ浄水場 完成予想図



#### 5. これまでの経緯

- |           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 2017年 2月  | KWSが本事業をカンボジア政府に対して提案 |
| 2018年 12月 | JICAが協力準備調査（F/S）を実施   |
| 2020年 5月  | 両国政府間で交換公文（E/N）署名     |
| 2021年 3月  | 事前資格審査 公示             |
| 2022年 3月  | KWSを含むJV5社が契約         |

#### \*事業・運営権対応型無償資金協力

民間企業が関与して施設建設から運営・維持管理までを包括的に実施する公共事業に無償資金協力をを行うことを通じ、日本企業の事業権・運営権の獲得を促進し、日本の優れた技術・ノウハウを途上国の開発に役立てることを目的としています。